

吉野川水系河川整備計画

～素案に関するご意見・ご質問ありがとうございました～

四国地方整備局では、現在「吉野川水系河川整備計画」の策定に向けた取り組みを行っています。平成18年6月23日に「吉野川水系河川整備計画【素案】」を公表し、専門的立場の学識経験者をはじめ、流域住民、市町村長から意見をうかがってきたところです。

各会場をはじめ、パブリックコメントにより広く意見を募集したところ、たくさんのご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

今回、いただいた貴重なご意見・ご質問についてとりまとめ、流域のみなさま方からいただいたご意見の共有を図ることができるよう、お知らせいたします。

吉野川学識者会議の主な意見



▽ 治水・利水・環境の優先順位について

- ・治水・利水・環境における基本理念について、優先順位を明確にするべきだと思う。
- ・治水・利水よりも環境にウエートを置いた整備計画がほしい。

▽ 将来予測を考慮した計画策定について

- ・30年先の社会の将来予測について取りまとめ、その情報を皆で共有して議論することが重要ではないか。
- ・過疎地域の人口の移行（少子高齢化）などをふまえたような計画であるのか。

▽ 河川整備計画の事業工程について

- ・整備計画は、5年10年の具体的な目標を立て、できたかどうかを評価しつつ30年を見ていくような方法をとればよいのではないか。
- ・吉野川のどこから、どのような整備をしていくのかが分かる概ねの30年間の事業の計画一覧表があれば、それが目標になり、一番いいと思う。

▽ 文章等表現内容の改善について

- ・【素案】の文章に分かりづらい表現がある。
- ・【素案】は専門用語が多く、理解できないため、解説を加えてほしい。
- ・【素案】に使用するデータは、最新のものに更新・追加し、誤解を招くような表現や図表は修正してほしい。

▽ 南海地震対策について

- ・今切川や旧吉野川の河口堰は、耐震性について検討しているのですか。
- ・地震時には、堤防の沈下だけでなく、堤内地の液状化による地盤沈下も含めて議論する必要があると考えるが、どのような取り組みをしていくのか。

▽ 環境目標の明確化について

- ・環境については、現状把握に努め、実施内容も「努める」に止めるのではなく、目標を明確にしてほしい。
- ・環境目標については、何年頃の吉野川を目標に河川整備するのかわかりささせる必要があるのではないかと。

- 「吉野川水系河川整備計画【素案】」については、国土交通省の関係機関及び各市町村の窓口で閲覧いただけるほか、ホームページ (<http://www.yoshinoriver.info>) からダウンロードすることもできます。
- 今後の予定については、ホームページ (<http://www.yoshinoriver.info>) や、新聞、ラジオ放送などを通じてお知らせ致します。

上流域会場の主な意見

住民の意見を聴く会



▽ 森林に関する他機関との連携について

- ・関係機関（林野庁や農水省）と連携し、森林の整備を進めてほしい。

▽ ダムの洪水調節について

- ・ダム下流域の降雨や支川の流出量、浸水被害を考慮した早明浦ダムの操作をしてほしい。
- ・アメダスなどの情報を活用することで、事前放流が可能になりませんか。

▽ 濁水対策について

- ・濁水時の濁水対策として、導水バイパスをつくってほしい。

▽ 高知県管理区間の直轄化要望について

- ・早明浦ダム下流の指定区間を直轄管理区間に編入し、直轄で管理してほしい。

▽ 高知県管理区間の改修要望について

- ・直轄管理区間や県管理区間の区別なく、危険な箇所は改善することを計画に載せてほしい。

市町村長の意見を聴く会

▽ 森林に関する他機関との連携について

- ・関係機関（林野庁や農水省）と連携し、森林の整備を進めてほしい。

▽ 早明浦ダムの改良について

- ・早明浦ダムを事前放流が可能な施設に改善してほしい。
- ・早明浦ダムの洪水調節機能を大きくしたら、ダム直下流の安全度を高める対策になるのか。

▽ 濁水対策について

- ・早明浦ダムに起因した濁水問題に対して、抜本的な対策を講じてほしい。

▽ 高知県管理区間の直轄化要望について

- ・早明浦ダム下流の指定区間を直轄管理区間に編入し、直轄で管理してほしい。

▽ 高知県管理区間の改修要望について

- ・直轄管理区間や県管理区間の区別なく、危険な箇所は改善することを計画に載せてほしい。

中流域会場の主な意見

住民の意見を聴く会

▽堤防整備の進め方について

- ・堤防整備の優先順位はどのようにして決めているのか。堤防の整備は、単に河川の管理や整備ということではなく、住民が納得できるように進めてほしい。
- ・無堤地区の堤防整備を早期に実施してほしい。
(勝命、沼田、加茂第二、半田、脇町第一、芝生箇所)

▽岩津上流の改修による下流への影響量について

- ・無堤地区の築堤で遊水地帯が減ってくると、下流の水位が上がってしまうのではないか。
- ・吉野川では、昔から「中流は遊水地」という考えがあったが、この遊水地の意味とその効果について教えてほしい。

▽加茂第一箇所の実施に関する計画内容について

- ・加茂第一箇所の山口谷川合流点付近では、堤防ができて内水被害はなくなるといいます。内水被害を軽減するには、河道の掘削が有効と考えます。

▽多自然型工法の検討について

- ・多自然工法についてオープンなところで議論してほしい。根固めブロックについては捨石で覆い親水性、景観回復、生物生息空間の質的向上に努めてほしい。また、環境への影響も評価してほしい。

市町村長の意見を聴く会

▽堤防整備の進め方について

- ・堤防整備の優先順位はどのようにして決めているのか。堤防の整備は、単に河川の管理や整備ということではなく、住民が納得できるように進めてほしい。
- ・無堤地区の堤防整備を早期に実施してほしい。
(勝命、沼田、加茂第二、半田、脇町第一、芝生箇所)

▽岩津上流の改修による下流への影響量について

- ・無堤地区の築堤で遊水地帯が減ってくると、下流の水位が上がってしまうのではないか。

▽加茂第一箇所の実施に関する計画内容について

- ・山口谷川の支川処理について、具体的な対策を教えてください。

▽河川空間の利用促進について

- ・水辺に近づきやすい親水護岸を整備し子供から高齢者まで楽しめるような整備をしてほしい。そうすれば、観光客も増えるのではないか。

▽整備計画策定の時期について

- ・一日も早い整備計画の策定により、流域住民の生命、財産を守り、安心して過ごせる吉野川にしてほしい。

▽意見の反映方法について

- ・住民の意見を聴いて、その意見が素案に反映できるようにしてほしい。



この他のご意見についても [ホームページ \(http://www.yoshinoriver.info\)](http://www.yoshinoriver.info) でご覧いただけます。
多数のご意見をいただき、ありがとうございました。

下流域会場の主な意見

住民の意見を聴く会

▽森林による流出抑制について

- ・洪水対策・濁水対策として、森林の整備について検討し、【素案】に盛り込んでほしい。
- ・ビジョン21などで、森林の洪水低減機能が証明されているので、【素案】に盛り込むべきである。

▽堤防整備の進め方について

- ・無堤地区の堤防整備を早期に実施してほしい。(勝命、沼田箇所)

▽内水対策の進め方について

- ・【素案】に示されている箇所以外にも、内水対策の充実を図ってほしい。
(角ノ瀬の増強、阿波市、吉野川市、鶯谷川、北島町、川内地区)
- ・内水対策の優先順位やスケジュールは、【素案】に含まれないのか。

▽住民参加に関する仕組みについて

- ・現在進めている方法で、十分意見を反映できる。
- ・学識経験者、市町村長、住民の3者が議論できる流域委員会を設置するべきである。
- ・この会の持ち方を根本的に変え、住民参加の公募の形でつくって一から出直して欲しい。

▽整備計画策定の時期について

- ・吉野川整備計画を早く決めて着工して欲しい。

▽意見の反映方法について

- ・住民の意見を聞くという姿勢を高く評価している。
- ・意見を聞き置くのではなく、文章に残すことをお願いしたい。
- ・今回の進め方では、情報が少ないため、議論ができるよう適正なデータを示していただきたい。

▽抜本的な第十堰の対策のあり方について

- ・第十堰問題を一緒に議論すると、急ぐべき河川整備計画の策定が遅れてしまう。今すぐに必要な対策から早急に取り組んでほしい。
- ・今回の河川整備計画は、第十堰の対策抜きで策定できると考えているのか。策定できるのであれば、その理由を教えてください。
- ・第十堰の抜本的な対策について、調査のスケジュールやどのような方法で行うのか説明して頂きたい。

市町村長の意見を聴く会

▽森林による流出抑制について

- ・整備計画策定に関しても、森林の現状等の話も議論していただきたい。

▽堤防整備の進め方について

- ・無堤地区の堤防整備を早期に実施してほしい。(勝命、沼田箇所)

▽内水対策の進め方について

- ・【素案】に示されている箇所以外にも、内水対策の充実を図ってほしい。
(角ノ瀬の増強、阿波市、吉野川市、鶯谷川、北島町、川内地区)



吉野川水系河川整備計画

～策定に向けたとくみ～

● たくさんのご意見をいただいています ●

四国地方整備局では現在「吉野川水系河川整備計画」の策定に向けた取り組みを行っています。

6月23日に吉野川水系河川整備計画【素案】を公表し、専門的立場の学識経験者をはじめ、流域住民、市町村長から意見を伺ってきたところです。参加された方からは多数のご意見をいただきました。

みなさまからいただいた意見をもとに、素案を練り直し、再度みなさまのご意見をお伺いします。

今後とも、情報公開、住民参加のもと、幅広くご意見をお伺いしながら整備内容の検討を進めていきます。

第1回吉野川学識者会議 (出席委員数 16名)

開催日：6月27日 (傍聴人数 56名) 開催場所：徳島市



主なご意見

- ▼ 森林の現状と課題を記載するべきではないか。
- ▼ 旧吉野川では南海地震で液状化が想定される。堤防だけではなく、堤内地の地盤変形と河川整備の問題も考慮しなければならないのでは。
- ▼ 河川環境に関しては、やるべきことを明確に記載されたい。

第1回吉野川流域市町村長の意見を聴く会 (関係市町村長 21名 (代理含む))

開催日：7月11日～26日 (傍聴人数 53名) 開催場所：上・中・下流の3箇所で開催

主なご意見

- ▼ 5～10年の間で実施する計画が知りたい。
- ▼ 森林整備との連携や堆砂対策とその有効活用を図って欲しい。
- ▼ 無堤地区解消を40年望んできた。無堤地区の早期解消をお願いしたい。
- ▼ 吉野川及び旧吉野川・今切川の無堤地区は早期に堤防の整備をお願いしたい。
- ▼ 内水地区において、排水機場の増設や新設をお願いしたい。
- ▼ 利用できる土地が少ない上中流域でこそ、河川空間を活用した整備をお願いしたい。また、川は観光資源でもあるので、船だまり、親水施設等の整備もお願いしたい。
- ▼ 災害情報網の整備や情報の内容を分かりやすくして欲しい。
- ▼ 早明浦ダムの濁水について、抜本的な対策を行って欲しい。
- ▼ 早明浦ダム設置者の責任として、ダム下流区間における浸水対策をして欲しい。また、高知県との調整をお願いしたい。早明浦ダムは出水の時に事前放流が可能な設備を整備して欲しい。

第1回吉野川流域住民の意見を聴く会 (参加総人数 428名)

開催日: 7月8日～9月30日 開催場所: 上・中・下流の6箇所で7回実施

主なご意見

▼ 治水について

- 無堤地区の築堤を早期に実施して欲しい。
- 中州の歴史的な景観を残して欲しいので、堤防の整備位置を複数案示すなど出来ないか。
- 河川の拡幅を早期にやってもらいたい。
- 支川を管理する県とも十分連携して堤防整備、内水対策を進めて欲しい。また、内水被害を軽減出来るような河道掘削方法を考えて欲しい。
- 内水対策について、被害軽減に向けた排水機場の増設や新設をお願いしたい。
- 支川の合流点付近に、水門及び排水機場を設置して欲しい。



▼ ダム等に関して

- 早明浦ダムを有効活用して欲しい。
- 早明浦ダムの濁水対策をして欲しい。

▼ 環境について

- 地域毎の絶滅危惧種の保護を目的とした環境保全目標の設定ができないか。
- それぞれの場所に合った多自然型工法を採用する必要があるのでは。専門家や地元住民から意見を聞いて最善の方法を取ってほしい。

▼ そのほか

- 濁水と堆砂の問題は森林と密接な関係があるため、流域の森林状況を把握し、関係機関と一体となった対策をして欲しい。
- 農業用水の取水の妨げになる土砂の除去や樹木伐採が必要。
- 河川工事の中で、地元産の木材を使って欲しい。
- 旧吉野川の支川上流に大量の廃棄物があり、川に流れ出すと飲み水に悪影響が懸念される。
- 洪水時の池田ダム放流量の予報を提供して欲しい。
- 理念だけではなく、日常から住民との関係を築く行動や場づくりについて記載して欲しい。
- 流域住民の会は、聞きおだけの会ではなく、意見交換のできる会にしてほしい。
- この会の持ち方を根本的に変え、住民参加の公募の形で作って一から出直してほしい。
- 吉野川整備計画を早く決めて早く着工して欲しい。
- 上流の県管理区間についても、浸水被害が度々発生している。今後、直轄管理化する考えはないのか。

このほか、パブリックコメント、はがき等で多数の意見をいただきました。
ご協力ありがとうございました。

平成18年10月 発行 国土交通省 四国地方整備局

〒760-8554 高松市福岡町4丁目26番32号 tel.087-851-8061 (代表)

- 「吉野川水系河川整備計画【素案】」については、国土交通省の関係機関及び各市町村の窓口で閲覧いただけるほか、ホームページからダウンロードすることもできます。
- 今後の予定については、ホームページや、新聞、ラジオ放送などを通じてお知らせ致します。